

社会連携・社会貢献白書

(2019 年度版)



信頼されるプロになる。



Niigata University of Pharmacy and Applied Life Sciences

新潟薬科大学

目次

- 新潟薬科大学 社会連携・社会貢献に関する方針
- 学長・地域連携推進室長メッセージ
- 2019年度の社会連携・社会貢献活動件数

地域との連携

◇まちなか活性化に向けた取り組み

- 健康部会
- まちなか部会
- 里山部会
- キャンパスの活用

◇地域との連携（新たな包括連携協定の締結）

◇社会、企業、団体との連携（新たな連携協定の締結）

学生による社会連携・貢献活動

◇授業を通じた活動

- キャリア形成実践演習
- 地域活性化フィールドワーク
- 健康・自立セミナー
- 理科教職コース

◇サークル・学生有志による活動

- かき氷サークル「スイーツラボ」
- 農業サークル「アグリアクティブ」
- レトルト商品開発プロジェクト
- 糰のつどい
- 「Akiha 春まつり～秋葉まちなか文化祭 2019」への参加
- 「田上団九郎夏まつり」への参加
- 「秋葉っ子冬まつり」への参加

教員等による社会連携・貢献活動

- 教育連携推進センター
- 高度薬剤師教育研究センター
- 産官学連携推進センター
- 健康推進連携センター
- 広報室
- 地域連携推進室

新潟薬科大学 社会連携・社会貢献に関する方針

新潟薬科大学は、「貢献力」を培う教育研究活動を全学的に推進し、社会との連携により社会への積極的な貢献を果たすため、次の方針を定める。

1. 目指す貢献域

本学は社会全般を社会貢献活動の対象とし、特に本学が立地する新潟県域はもとより、本学の理念にもあるように国際的な視点を重視する観点から、日本国内外にわたる貢献に取り組む。

2. 社会との連携

本学の教育研究成果を幅広く社会に還元するため、自治体、企業・団体、教育研究機関などの学外組織と連携・協力し、健康社会の実現に貢献する。

3. 地域との連携

地域に開かれた大学として、大学施設の開放、本学が有する知的財産等の地域への提供、ならびに学生や教職員の地域活動への積極的な参加を通して、地域と本学双方の一層の発展を目指す。



新津駅東キャンパス（通称：新津まちなかキャンパス）

🌈 学長・地域連携推進室長メッセージ

新潟薬科大学 学長 下條 文武

新潟薬科大学は、1977（昭和 52）年に 4 年制私立大学として新潟県で最初に関学し、現在、薬学部・薬学科と応用生命科学部・応用生命科学科と生命産業創造学科の 2 学部 3 学科において、薬・食品・バイオ・環境・生命を守る分野での「信頼されるプロになる。」を人材育成の目標とし教育研究活動を展開しています。

新潟薬科大学のビジョンとして、「ひと」と「地域」に貢献することにより健康・自立社会の実現を目指すことを掲げ、特に、秋葉区役所、新津商工会議所等のご協力のもと産官学連携に様々な実績を重ねてきました。これまでの地域連携実績を糧に、今後の本学の社会貢献活動においても SDGs（Sustainable Development Goals）に取り組んで参りたいと思っています。



地域連携推進室 室長 伊藤 満敏

社会連携・地域貢献は教育・研究と並列する大学使命の重要な活動です。新潟薬科大学は新潟市秋葉区を中心とした多方面にわたる社会連携・社会貢献活動を実施しております。この度、その活動の一端を広く市民や経済活動を営む皆様そして行政機関の皆様にご理解いただけるように「社会連携・社会貢献白書」としてまとめ発刊いたしました。

新潟薬科大学は今後も地域に根差し、地域産業や地域発展向上に向け、本学を取り巻く多くの皆様と連携しながら活動を進めて行く所存です。皆様から本学のご理解を深めていただき今後も活動に対するご助言・ご指導を賜りたくお願い申し上げます。



🌈 2019 年度の社会連携・社会貢献活動件数

地域や社会、企業、団体との新たな連携協定数は 6 件、学生による社会連携・貢献活動は 156 件、教員等による社会連携・貢献活動は 136 件となり、**2019 年度の活動件数の合計は 298 件となります。**活動の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

地域との連携

◇まちなか活性化に向けた取り組み

秋葉区役所や新津商工会議所、地域の商店街を始めとする関係機関・団体と連携し、「まちなか部会（まちなかの賑わいと交流）」、「健康部会（健康・自立の延伸）」、「里山部会（里山の魅力発信と利活用）」において、“まちなか活性化”をキーワードとした様々な活動を行っています。

➤ 健康部会

健康・自立セミナー

学生が地域住民の「健康・自立を支えるまちづくり」をテーマに掲げ、近隣住民の皆様を対象とした「健康・自立セミナー」を実施しています。（今年度の活動は「学生による社会連携・貢献活動」に記しています。）

Akiha で笑顔 健康レストランプロジェクト

秋葉区内の飲食店と連携し、食を通して区民の健康づくりや健康寿命の延伸を図ることで、まちなかの賑わいと秋葉区の元気につなげる活動を行っています。（今年度の活動は「教員等による社会連携・貢献活動」に記しています。）

➤ まちなか部会

学生ランチマップ事業

新潟薬科大学 新津駅東キャンパスで学ぶ学生たちが、近隣の商店街での昼食を取りやすくするために、商店街や商工会議所、区役所などと連携し、学生が利用できる 100 円引の割引券の提供や、利用できるお店を掲載した学生ランチマップを作成しています。更に年度のはじめには、商工会議所の協力で 300 円の割引券を学生に提供しています。

キャリア形成実践演習

応用生命科学部両学科 1～3 年生が選択できる授業科目で、秋葉区や商工会議所などの協力をいただき、学生たちはたくさんの課題の中から選択し演習を行っています。（今年度の活動は「学生による社会連携・貢献活動」に記しています。）

➤ 里山部会

新潟薬科大学 新津キャンパスが立地し、市街地や住宅地と隣接し、市街地や住宅地とも隣接する新津丘陵で、里山文化を活かした賑わいづくりを行っています。

➤ キャンパスの活用

APP ホール

新津駅東キャンパス（通称：新津まちなかキャンパス）1 階の APP ホールは地

域に開かれたスペースとして一般の方もご利用いただけます。今年度は秋葉区のイベントや活動、地域の方のサークル作品の展示などを中心に13件の貸し出しを行いました。

薬草・薬樹交流園

本学附属の「薬草・薬樹交流園」は本学の学生や教職員の教育研究を主目的とするだけでなく、近隣住民の皆様にも薬草・薬樹を通して、健康を考える施設として2014年10月に開園しました。薬草・薬樹交流園は「薬草ゾーン」、「薬樹ゾーン」、「研究系植物ゾーン」の3つに区分けされており、開園日には誰でも自由に見て回ることが出来ます。今年度行った3つのイベントの来園者数は350名、イベント以外での来園者数は1468名で、計1818名の方に来園いただきました。

◇地域との連携（新たな包括連携協定の締結）

新潟商工会議所

新潟薬科大学と新潟商工会議所は、2020年2月27日（木）、自然・環境、教育・文化、産業・地域活性化、まちづくり、国際交流、人材育成及び防災・減災といった幅広い内容について、両機関が連携することによって大学の存する地域社会の発展と人材の育成に貢献するための「包括連携協定」を締結しました。

新潟薬科大学と新潟商工会議所とは長年、地域経済の活性化に向けて共に取り組みを続けておりますが、本日を区切りとして、地域の課題解決に向けた新たな取り組みも進めていきます。

新潟市秋葉区

新潟薬科大学と新潟市秋葉区は、2020年3月10日（火）に「まちなか活性化」を柱に、自然・環境、教育・文化、産業・地域活性化、まちづくり、医療・保健・福祉、国際交流、人材育成及び防災・減災といった多岐にわたり双方が包括的な連携のもと相互に協力し、秋葉区における地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的として、「包括連携協定」を締結しました。

これを機に、従来から行ってきた両機関によるまちなか活性化の取組みをさらに発展させることを目指し、両機関による連携体制を強化するため、双方に窓口を設けて「連携協議会」を定期的開催し、両機関の施策に活かしていきます。

◇社会、企業、団体との連携（新たな連携協定の締結）

国立ウィーン大学、オーストリア薬剤師会

1365年創立のドイツ語圏最古で最大の「国立ウィーン大学」と、欧州における薬剤師制度の象徴的な取り組みを行う「オーストリア薬剤師会」とともに、新潟日報メディアシップ（新潟市中央区）で医療・薬剤師制度及び生命科学をテ

マとした「国際学術交流会」を開催することになり、この学術交流会の開催及び両国が正式外交を開始してから今年で150周年の節目の年を迎えたことを記念し、2019年6月18日（火）に、ウィーン大学と本学、オーストリア薬剤師会と本学との間で、それぞれ連携協定を締結しました。

国立大学法人上越教育大学

新潟薬科大学は、2019年7月8日（月）に上越教育大学との間で、両大学が行う教員養成や教育、研究等における人的・物的資源の相互活用、その他連携協力を推進することにより、それぞれの活動の一層の充実を図るとともに、我が国及び地域の発展に寄与することを目的として、連携・協力協定を締結しました。

国立大学法人新潟大学

新潟薬科大学と国立大学法人新潟大学は、2020年1月20日（月）、教育・研究において組織的に連携・協力していくための包括的な連携協定を締結しました。協定の内容は、①教員・研究者及び職員の交流、②学生の交流、③共同研究の実施となり、連携によって医療や健康に関する分野の教育や研究において、両大学がより一層の関係の構築と協働を図るものとなります。

公益社団法人新潟県薬剤師会

新潟薬科大学と公益社団法人新潟県薬剤師会は、2020年2月6日（木）、「公益社団法人新潟県薬剤師会と新潟薬科大学との連携に関する協定書」を締結しました。協定書では、「両者が包括的な連携のもと、相互に協力し、地域医療及び地域社会の発展に関する貢献、並びに薬剤師の人材確保及びその育成に寄与する」ことを目的としており、薬剤師の職能の拡大や薬学教育、さらには地域医療への貢献といった多岐にわたる内容について、連携・協力していくことを確認しました。

学生による社会連携・貢献活動

◇授業を通じた活動

➤ キャリア形成実践演習

応用生命科学部 2 学科 1～3 年生の共通科目。コミュニケーションが取れるような人格形成を目的として、ボランティア活動や地域の行事への参加を促すために、大学が位置する秋葉区の商店街を中心とした地域の活動等に今年度は 25 課題ある中から学生が数名のグループに分かれて次ページの一覧にある 20 課題にそれぞれ取り組みました。

2019年度前期キャリア形成実践演習課題一覧

No.	課題名	活動日時	活動場所	課題の内容	学生の役割	参加学生数
1	まちなか年金市	6月14日(金) 9:00~12:00	新津本町通り (にいつ0番線 商店街)	年金市(年金支給日)に訪れる お客様のサポート	<ul style="list-style-type: none"> 来て基地から犯罪防止の呼び掛け(放送)を行っていただきます。 0番線商店街のクーポンチラシを来街者へ配布いただき、店主とともにまちなか年金市を盛り上げていただきます。 	5名
2	七夕プロジェクト	6月29日(土) 13:00~17:00	新津本町通り アーケード内	七夕飾りと取付	秋葉区内の幼稚園・保育園の園児から書いて頂いた短冊を笹飾りに飾り付け、商店街のアーケード内に取り付けて、商店街を七夕で彩り、商店街活性化に一役買って頂きます。後日レポートの提出をお願いしています。(鉄道商店街HP掲載予定)	10名
3	にいつの情報発信事業 (新津鉄道資料館サンクス フェア)	7月13日(土) 10:00~14:00 (お昼付き)	新津鉄道資料館	サンクスフェアの体験取材	鉄道のまち「にいつ」の鉄道資料館でフェアの取材を通し、鉄道の街新津を体験し、学生目線のレポートを提出頂きます。 (鉄道商店街HPに掲載予定)	4名
4	どんちゃんまつり	8月31日(土) 13:30~19:00	ほっとサポートしんえい 敷地内	障がい者通所施設主催の地域交流イベントを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> 当日運営、司会など事前打ち合わせにおいて内容を説明しうえで決定。 	3名
5	Akiha稲架木LOVER'S プロジェクト推進事業	9月15日(日) 8:00~13:00	秋葉区満願寺	昔ながらの手植えによる田植えと、手刈りによる稲刈り、そして、ここでしかできないさ掛けを体験する機会を設け、稲架木を愛する者「稲架木LOVER」を増やし、ご飯を食べた時に満願寺の稲架木に掛かった稲が悪い浮かぶぐらいに、農業や食への関心を高め、将来に渡って秋葉区に愛着を持って、農業者を応援したくなるきっかけを作る。	<ul style="list-style-type: none"> 体験時間の前・後においては、イベント運営側のスタッフとして会場の準備や参加者の受付などの業務に従事していただく。 体験時間中においては、参加者とともに稲刈り・はざ掛け作業を体験していただき、農作業の苦勞を身をもって学んでいただく。 	4名
6	朝日の森の会の活動	7月7日(日) 9:00~12:00	朝日の森 (秋葉区朝日地内薬科 大学隣接地)	市有林の森林保全作業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 下草刈りや樹木・竹林の伐採・整理作業 イベントや教育活動の準備 <p>※注)チェーンソーを使う作業員の近くでは作業を行わないように注意すること。</p>	9名
7	区民主動de秋葉公園 魅力up事業	8月30日(金) 9:00~11:00	秋葉公園	秋葉公園の魅力向上を目指し、区民と一緒に基本構想の策定を行う。	秋葉公園を歩いて点検し、改善点や魅力向上につながるアイデアを協働で考える。	8名
8	一小 自学ひろば	9月11日(水)、 18日(水)、 25日(水) 14:45~15:45	一小 なかよしルーム	3年生の希望者対象 (最大69名) 主学習習慣をつけるための空間 元教員の質問受付もある	<ul style="list-style-type: none"> 受付の補助 元教員の学習補助 実施日は別紙のとおり 	1名
9	一小 全校秋葉山ハイキング	9月13日(金) 9:00~15:00	秋葉山 (一小集合・解散)	全校縦割り班活動として地域の宝である秋葉山にハイキングし、弁当を食べ、ともに遊ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 班に付いて安全見守り(教員のサブとして) 班の児童とお弁当や遊びを通して交流 児童と秋葉山の魅力を知る 	9名

2019年度後期キャリア形成実践演習課題一覧						
No.	課題名	活動日時	活動場所	課題の内容	学生の役割	参加学生数
1	もち麦プロモーション「ガス展」で情報発信	10月6日(日) 9:00~16:00	越後天然ガス 本社ショールーム	「もち麦」の効能を知り、その効能を地域の人たちに試食の提供をとおして説明する。	「もち麦」ご飯の炊飯および飲食盛り付け及び来場者への試食の提供作業	2名
2	秋葉区観光・情報案内所アンケート調査	10月6日(日)と 10月26日(土) 9:00~12:00 ※2日間の活動	新津駅東口広場	新津駅の「旧びゅうプラザ」を活用し、一時的な観光・情報案内所の開設を予定している。来訪者に案内所に関するアンケート調査を実施し、今後の案内所開設事業の検討材料とする。	・事前学習でアンケート項目に関する意見をもらう(活動日の概ね2週間前迄に意見提出を希望) ・来訪者にアンケート調査を実施する ・アンケート結果を集計する ・案内所開設に関する学生の意見をもらう	2名
3	一小 自学ひろば	11月13, 20日 12月11, 18日	新津第一小学校 なかよしルーム	3年生の希望者(20名程度)に自主学習の習慣づけのお手伝い。秋葉区学校支援会の元教員2名が主となる。	1) 児童の質問に答える 2) 励め言葉をかける	1名
4	シャッターアート事業	10月19日(土) 9:00~14:30 (お昼付き)	新光商店街 アーケード内	アーケード内空き店舗に鉄道車両を描く作業	新津の名所になりつつあるシャッターアートに参加して、自分が車両を手掛けたことを自慢に及んだり知人に紹介して一人でも多くの来訪者を増やしてほしいです。加えてシャッターアートを見に来るマニア、観光客などにもアピールできるようなアイデアなどを出して頂きたいです。	4名
5	一小祭 わくわくサイエンス	10月20日(日) 11:00~15:00	新津第一小学校 中庭	一小の作品展示イベントの一つとして公民館連携「子ども創造室」によるサイエンスコーナーを実施。	1) シャボン液制作 2) シャボンシャボン玉遊びの運営、進行、片付け(体育館でのPR活動も含む)	6名
6	にいつハロウィン 仮装まつり	10月26日(土) 9:00~15:00	新津本町通り沿いの 商店街	参加者や子供たちの安全監視などイベントのサポート	参加者や子供たちの安全監視、パレードの交通整理、ゴミの除去などを行って頂き、イベント成功のお手伝いをさせて頂きます。	7名
7	朝日の森づくり体験	11月3日(日) 9:00~12:00	朝日の森 (秋葉区朝日)	広く市民に「森づくり」体験をしてもらう	森林整備・植林体験のサポート	4名
8	市民協働による里山整備事業	11月9日(土) 9:30~12:30	秋葉公園	秋葉区の魅力である里山の保全を目的に市民・企業・団体等と協働で環境整備を実施する。	・園内遊歩道沿線の市有林の環境整備(曇・下草刈等)	5名
9	新津商店街清掃活動	11月27日(水) 13:00~15:00	新津本町通り沿いの 商店街	商店街のアーケード内が、安全で清潔な環境であるように維持するための活動	・清掃、美化活動 ・地元企業、商店で働く人との交流 ・危険の少ない場所での清掃活動をして頂きます。 ・当日は東北電力さんとの協同作業になります。	4名
10	クリスマスイルミネーション装飾事業	11月30日(土) 13:00~17:00	新光商店街 アーケード内	新光商店街アーケード内にクリスマスイルミネーションの取り付け作業	冬の商店街を明るく賑やかにするイルミネーションの設置の設置をして頂きます。商店街にイルミネーションを装飾するにあたり商店街の現状を認識・理解し、今後の商店街活性化についてやイルミネーション設置の仕方についてなど、何かアイデアがあれば聞かせて頂きたいです。	8名
11	大売り出し抽選会事業	12月14日(土) 9:00~14:00 (お昼付き)	新津地域交流センター	新光商店街売出し抽選会のお手伝い	お客さまからのスタンプ台紙のチェック、景品のお渡し、ガラホンの出玉の確認など店主さんと交流を深めながらお客様にサービスおもてなしを行う作業です。参加された方は感想を聞いて頂いて新光商店街のHPに載せたいと思います。	5名

➤ 地域活性化フィールドワーク

応用生命科学部生命産業創造学科 1 年生、3 年生の科目。地域産業の活性化について学生が主体的に考え、地元商店の活性化の活動に移し、行動の中から学ぶことを目的としたフィールドワークです。フィールドワーク I はフィールドワーク II の基礎となる科目で、学生は主に商店や町の様子を SNS (主にインスタグラム) で発信しました。10月26日(土)に開催された「にいつハロウィン仮装まつり」も授業の一環として参加しました。

フィールドワーク II については、実際に店舗を訪問し、広報活動の提案などについて経営者と検討し、新商品を開発するなど実践的な活動を行いました。11 ある活動の一例として、コーヒーショップで学生がブレンドしたオリジナルコーヒーの販売を行うなど実践的な活動を店舗と協力して行いました。

➤ 健康・自立セミナー

薬学部の学生が大学で学修した知識や技能を住民と共有することによって、住民の健康・自立の延伸に貢献する目的で、2016年度から実施しています。今年度は、秋葉区内の9会場で43回、田上町の4会場で20回、計63回実施しました。第25回を秋葉区内と田上町の会場で各1回を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため中止となりました。

2019年度 健康・自立セミナー開催実績																
秋葉区																
普通公会堂			新津地域交流センター			秋葉会館			中沢町内会館							
新津本町2丁目2区町内会 普通町1丁目自治会 普通町2丁目町内会	来場者数	学生数	引率教員数	新津本町1丁目町内会 新津本町3丁目1区栄町内会 新津本町3丁目2区町内会 新津本町3丁目3区町内会	来場者数	学生数	引率教員数	秋葉1丁目町内会 秋葉2丁目町内会 秋葉3丁目町内会	来場者数	学生数	引率教員数	中沢町内会	来場者数	学生数	引率教員数	
13:30~15:00			10:00~11:30			13:30~15:00			10:00~11:30							
第20回	2019年5月11日(土)	20	5	2	2019年5月11日(土)	5	6	1	2019年5月11日(土)	8	4	1	2019年5月25日(土)	19	5	2
第21回	2019年6月22日(土)	10	5	1	2019年6月22日(土)	10	5	1	2019年6月29日(土)	10	4	1	2019年7月6日(土)	21	4	1
第22回	2019年9月7日(土)	11	5	1	2019年9月7日(土)	11	4	1	2019年9月7日(土)	7	4	1	2019年9月21日(土)	23	5	1
第23回	2019年10月19日(土)	8	10	1	2019年10月19日(土)	2	9	1	2019年10月19日(土)	6	10	1	2019年11月9日(土)	23	9	2
第24回	2019年12月7日(土)	12	11	1	2019年12月7日(土)	6	10	2	2019年12月7日(土)	12	8	1	2019年12月21日(土)	24	11	2
第25回	2020年2月29日(土)	-	-	-	2020年2月29日(土)	-	-	-	2020年2月29日(土)	-	-	-	2020年3月14日(土)	-	-	-
秋葉区																
小瀬戸まちづくりセンター			小合地区コミュニティセンター			金津地区コミュニティセンター			坂川コミュニティセンター							
小瀬戸地区コミュニティ協議会	来場者数	学生数	引率教員数	小合地区コミュニティ協議会	来場者数	学生数	引率教員数	金津コミュニティ振興協議会	来場者数	学生数	引率教員数	坂川地区コミュニティ協議会	来場者数	学生数	引率教員数	
10:00~11:30			10:00~11:30			10:00~11:30			10:00~11:30							
第20回	2019年5月11日(土)	11	4	2	2019年5月18日(土)	21	5	2	2019年5月18日(土)	11	4	1	2019年5月25日(土)	15	5	2
第21回	2019年6月22日(土)	15	5	2	2019年6月29日(土)	17	4	2	2019年6月29日(土)	13	5	1	2019年7月6日(土)	28	5	2
第22回	2019年9月7日(土)	12	4	1	2019年9月14日(土)	5	5	2	2019年9月14日(土)	22	5	2	2019年9月21日(土)	20	5	1
第23回	2019年10月19日(土)	12	11	1	2019年10月26日(土)	6	11	2	2019年10月26日(土)	11	10	1	2019年11月9日(土)	10	11	2
第24回	2019年12月7日(土)	12	9	1	2019年12月14日(土)	8	8	2	2019年12月14日(土)	33	9	1	2019年12月21日(土)	19	11	2
第25回	2020年2月29日(土)	-	-	-	2020年3月7日(土)	-	-	-	2020年3月7日(土)	-	-	-	2020年3月14日(土)	-	-	-
秋葉区																
新聞コミュニティセンター																
新聞コミュニティ協議会	来場者数	学生数	引率教員数													
13:30~15:00																
第5回	2019年7月13日(土)	19	5	2												
第6回	2019年9月28日(土)	19	13	2												
第7回	2019年11月30日(土)	17	8	3												
田上町																
田上町コミュニティセンター			なかだねひろば			田上町老人福祉センター			誕生田公民館							
上野区 山田区	来場者数	学生数	引率教員数	中店第4区	来場者数	学生数	引率教員数	川船河南区 上吉田区	来場者数	学生数	引率教員数	誕生田第1区 誕生田第2区 誕生田第4区 下吉田第1区 保野地区	来場者数	学生数	引率教員数	
13:30~15:00			13:30~15:00			13:30~15:00			13:30~15:00							
第20回	2019年5月25日(土)	6	3	2	2019年5月18日(土)	7	5	2	2019年5月25日(土)	13	5	2	2019年5月18日(土)	10	6	1
第21回	2019年7月6日(土)	7	6	1	2019年6月29日(土)	8	5	2	2019年7月6日(土)	9	5	2	2019年6月22日(土)	6	4	2
第22回	2019年9月21日(土)	6	4	1	2019年9月28日(土)	7	5	2	2019年9月21日(土)	11	3	1	2019年9月14日(土)	8	6	2
第23回	2019年11月9日(土)	7	10	2	2019年10月26日(土)	5	10	1	2019年11月9日(土)	9	10	2	2019年10月26日(土)	10	9	1
第24回	2019年12月21日(土)	8	9	2	2019年12月14日(土)	4	11	1	2019年12月21日(土)	13	10	2	2019年12月14日(土)	14	9	2
第25回	2020年3月14日(土)	-	-	-	2020年3月7日(土)	-	-	-	2020年3月14日(土)	-	-	-	2020年3月7日(土)	-	-	-

定期開催会場（秋葉区・田上町）			
回	テーマ（疾病）		漢方薬
第20回	糖尿病	熱中症	白虎化人參湯
第21回	前立腺肥大症	渦活動性膀胱炎(頻尿)	竜胆瀉肝湯
第22回	飛蚊症	加齢黄斑変性症	牛車腎気丸
第23回	疥癬	インフルエンザ	温清飲
第24回	逆流性食道炎	自律神経失調症	半夏白朮天麻湯
第25回	心筋梗塞	白内障	人參養榮湯
※新聞コミュニティセンター			
第5回	認知症	パーキンソン病	抑肝散
第6回	心筋梗塞	脳梗塞	五苓散
第7回	緑内障	白内障	八味地黄丸

➤ 理科教職コース

応用生命科学部応用生命科学科理科教職コースの活動として、理科実験の事前準備や運営補助を行う「理科支援員」として田上小学校で21回、羽生田小学校で30回、計51回の授業支援を行い、35名の学生が活動に参加しました。この他に、子供たちと科学実験などを通して理科への興味付けと本学学生との交流を図ることを目的とした田上町の「放課後児童クラブ」のスタッフとして学生数名が参加しました。

※新潟県田上町と本学は、2013年12月18日付で健康や地域を担う人材の育成など今後両者が広範囲にわたり相互に連携を図るための「連携協定」を締結しています。

◇サークル・学生有志による活動

➤ かき氷サークル「スイーツラボ」

応用生命科学部生命産業創造学科の学生を中心としたサークル「スイーツラボ」では、破損などで出荷が難しい新潟特産の果物を使ったシロップやコンポートを自作又は仕入れし、それらを使ったかき氷で県内イベントに出店しました。今年度はJR東日本新潟支社が新津駅で7月27日（土）に開催した「ぷらっとホームBAR at 新津駅」に出店したほか、県内で行われた他2つのイベントへも出店しました。当日は同サークルの学生4名が出店に携わりました。

➤ 農業サークル「アグリアクティブ」

9月7日（土）～10月5日（土）に田上町で開催された「第10回湯田上温泉 温泉まつり」に自分たちが育てた花で製作したフラワーキーホルダーを出店（出店は9月14日（土）のみ）しました。当日は同サークルの学生4名が出店に携わりました。

➤ レトルト商品開発プロジェクト

地元企業と連携した文理融合教育の一環として実施した学生の課外活動プロジェクトで新潟の郷土料理「のっぺ」を洋風アレンジしたレトルト食品「トマトスープになっちゃったのっぺ」を考案し「新津あおぞら市場」では学生3名が、「Akiha 春まつり～秋葉まちなか文化祭2019」では学生6名が出店・販売を行いました。



➤ 糴のつどい

ノンアルコールの甘酒「糴ドリンクほわいと」です。商品の製造、デザイン、マーケティング、販売など全てに学生が関わって作った甘酒です。販売には企業の協力を得て、今年度は新津商店街や秋葉区内の店舗に置いていただきました。この活動には生命産業創造学科の学生有志で構成する「糴のつどい」という団体で10名前後の学生が携わっています。



➤ 「Akiha 春まつり～秋葉まちなか文化祭 2019」への参加

4月28日（日）に新津本町中央公園で開催された「Akiha 春まつり」の大学紹介ブースに上記プロジェクトで開発したレトルト食品の売場に薬学部・応用生命科学部の学部生及び大学院生の計6名が参加した他、ダンスサークルの学生数名がイベントを盛り上げるために参加しました。

➤ 「田上団九郎夏まつり」への参加

7月27日（土）～28日（日）に田上町で開催された「田上団九郎夏まつり」のステージイベントで「健康によい食べ物クイズ」のコーナーを学生2名が担当し、133名の方がこのコーナーに参加しました。

➤ 「秋葉っ子冬まつり」への参加

2月9日（日）に秋葉区総合体育館で開催された小学生低学年を対象とした冬遊びイベントのボランティアスタッフとして毎年数名の学生が参加しており、今年度は学生1名が参加しました。

教員等による社会連携・貢献活動

➤ 教育連携推進センター

本センターは、本学の高度な教育資源を社会へ還元する取り組みの一環として、各教育機関や各種団体との連携による教育活動を広く展開し、教育の発展と社会への貢献を寄与することを目的として設置されました。今年度の活動は以下に記載のとおりです。

先端科学技術活用講座への講座提供

6月12日（水）には先端的な科学技術に関する教員の指導力向上を目的とした「先端科学技術活用講座」（新潟県立教育センター主催）で、講座の提供を行いました。この講座では、科学技術系に進学する生徒の増加、次世代を担う人材を育成するため、高等学校教員に対して、観察・実験実習等で利用可能

な技術を学ぶ機会を提供しています。今年度は「タンパク質の可視化技術を体験する」と題して、健康・自立総合研究機構の関峰秋准教授と高橋昌幸助教が担当しました。

キャリア教育プログラムへの協力

新潟市立万代高等学校の「キャリア教育プログラム」の一環として、7月31日（水）に薬学部と応用生命科学部で1講座ずつの提供を行い、高校生6名が受講しました。

薬学入門講座

7月から9月にかけて、『新潟薬科大学高校生のための薬学入門講座』を実施しました。県外からも多数の高校生の皆さんが参加され、4日間の受講者数は108名でした。

7月21日（日）と8月25日（日）には「飲んだ薬はどこへいくの？」をテーマに実習をしました。高校生の皆さんは山下菊治教授（薬学部機能形態学研究室）の指導のもと、自分で臓器を手作りし、組み立て、完成した臓器模型を使い、薬が体の中でどのように作用するのかについて、考察をしました。参加者からは「自分で作った臓器の模型を使って学ぶことができ、理解を深めることができた。」「教えてくれた先生、在学生ともに親しみやすくよかった。知らなかった体の仕組みも学べていい一日でした。」などの感想がありました。

また8月6日（火）と9月8日（日）には「1粒の薬の中にはどんな科学がかくれているの？」をテーマに実習を行いました。高校生の皆さんは飯村菜穂子准教授（物理薬剤学研究室）の指導のもと、薬を作ったり、どのように体に効くのかを実験を通して実際に体験しました。参加者からは「短時間でたくさんの実験をすることができて、とても楽しく学ぶことができました。」などの感想がありました。

生命科学講座

7月から8月にかけて、『生命科学講座』を実施しました。7月25日（木）・31日（水）、8月23日（金）は講義形式、8月5日（月）・6日（火）・22日（木）は実験形式の講座を行い、6日間の受講者数は110名でした。（テーマと詳細は以下をご覧ください）。参加者の皆さんからは、「身近で考えやすいテーマでの講義で、興味を持って楽しく学ぶことができました。」「大学が身近に感じました。」などの感想を聞くことができました。

実施日	内容/時間	テーマ/概要
第1回 7/25	【講義】 13:00~14:20	色を考える 食品にしても、実験室にあるような化学物質にしても無色のもの(白色)や鮮やかな色がついているものなど様々あります。何故この様な色があるのでしょうか。色素、物質の色があるとはどういう仕組みでしょうか。炭酸飲料のような試飲、コンジンのような食品などを例に挙げて楽しく解説します。
	【講義】 14:30~15:40	味覚と甘味料の科学 我々はこのようにして「味」を感じるのでしょうか。味物質(味をもつ物質)とはどのような物質なのでしょうか。本授業では、我々が味を感じる仕組み(味覚のメカニズム)を学びます。また、実際の食品を例にとり、甘味料の種類と特徴を考えます。
第2回 7/31	【講義】 13:00~14:10	植物品種改良の歴史と将来展望1 お米やパンの原料となっているイネやコムギには、その用途に合わせて非常に多くの品種が存在しています。また、バイオテクノロジーの進歩により新しい作り方や遺伝子工学等の新品種が開発され、私達の生活を豊かにしてくれています。ここでは、植物の品種改良の歴史を具体的な例をあげ振り返り、ゲノム編集等の新技術がどのように新品種開発に応用されるかをわかりやすく解説します。
	【講義】 14:20~15:30	植物品種改良の歴史と将来展望2 遺伝子解析技術の劇的な進歩によって、人が生活するうえで関わりが深い植物たちの設計図が読み取られています。設計図には様々な遺伝情報が収められており、それを読み解き、形・活用することで、新しい特性をもった植物を効率よく開発する技術が開発されています。本授業では、これらの技術についてわかりやすく解説し、その利用によって作出される新しい特性をもった植物について紹介します。
第3回 8/5	【実験】 (昼食付き) 10:30~16:00	紅茶から生理活性成分「カフェイン」を取り出そう カフェインはコーヒー・お茶・コーラなどに含まれている物質であり、摂取すると気分が冴える、集中力が増すなどの効果があります。この世界中の人々を魅了している有機化合物「カフェイン」を紅茶より取り出してみましょう。

実施日	内容/時間	テーマ/概要
第4回 8/6	【実験】 (昼食付き) 10:30~16:00	多糖類でいろいろなゼリーを作ってみよう 多糖類は、食品に粘りやどろっとした食感をつけるために幅広く使用されています。有名な寒天やゼラチン以外にも、カラギーナン、キサンタンガムなどいろいろな種類があり、性質も異なっています。これらを使ってゼリーを試作り、その固さ、ぶるぶる感、溶ける温度を調べてみて、どのような食品に適しているのかを考えて見ましょう。
第5回 8/22	【実験】 (昼食付き) 10:30~16:00	青いバラ、青いカーネーションはどうして青いの? 最近までバラやカーネーションには、青色の花が咲く品種が存在しませんでした。今では、バイオテクノロジーの応用の結果、バラやカーネーションにも青色の花が咲く品種が存在します。それはどうしてでしょうか。ここでは、市販されている青いバラや青いカーネーションを材料として用いて、色素やDNAを抽出し、色の違いとの関連性を調査します。実験の結果に基づき、上記の疑問について皆さんと考えたことで、バイオテクノロジー実験を実感しましょう。
第6回 8/23	【講義】 13:00~14:10	発酵～微生物によるものづくり～ 微生物は、我々の身近にある有用なもの(食品、化粧品、エネルギーなど)を作り出しています。お酒、チーズ、洗濯、油などを例に挙げ、微生物の役割(発酵)を解説します。
	【講義】 14:20~15:30	水=生命の源=を守る 「水」は生命の源であり、河川などの水の汚染は、環境・生態系や人の健康に大きな影響を及ぼします。水を安全に保つためには様々な仕組みがあります。ここでは、水を有害な物質から守るための方法について、詳しく解説します。

食・環境ビジネス講座

7月から8月にかけて、『食・環境ビジネス講座』を実施しました。この講座では食・環境ビジネスに関する具体的なテーマを取り上げ、「国際感覚」「分析力」「実践力」「論理的思考」「情報活用力」「語学力」「マーケティング力」の基礎について講義しました。受講者数は8名でした。テーマと詳細は以下をご覧ください。

実施日	内容/時間	テーマ/概要
第1回 7/24	【講義】 13:00~14:10	ゴミももれば金になる 携帯電話やゲーム機などの電子機器は壊れたり、古くなったりと買い替えられますが、捨てられた電子機器はどうなるのでしょうか。これらのゴミには実は山の鉱石よりもはるかに多くの金属資源が存在しています。ゴミの山を宝に変える最新の技術とそれに基づくビジネスについて学びましょう。
	【講義】 14:20~15:30	危ないリサイクル ゴミをリサイクルして資源にする。天然資源を節約し、二酸化炭素の排出を減らすために様々なリサイクルが行われています。環境に良いことのはずのリサイクルが、環境を汚染したり、人の健康を脅かすことがあることをご存知でしょうか? 身近にある危ないリサイクルの例について学びましょう。
第2回 7/31	【講義】 13:00~14:10	消費期限の決め方 食品には「酸っぱい」「臭い」「硬くなる」という性質があり、これが消費期限を決めています。塩辛、ハチミツ、パウンドケーキ、コンドミの缶詰、イートイン、アイスクリーム、いろいろな食品を例にして、実際に食べてみて、食品の消費期限を決めているのかを学びます。
	【講義】 14:20~15:30	消費期限を決めるもの 腐りやすさや食中毒が起こる危険性を決めているのは、食品のどのような性質でしょうか。その性質について学び、機械で測定して、それぞれの食品の消費期限、賞味期限がどう導かれたかを学びます。
第3回 8/5	【講義】 13:00~14:10	食品安全管理のマネジメント 食品産業が食品を作る際のいちばん気を注ぐのが、「食中毒を起こさない」ということ、食品安全です。そのための最良のマネジメント手法はHACCP(ハザード)であること、世界的に認められています。2021年には全食品事業者に義務化されるHACCPについて学びます。
	【講義】 14:20~15:30	HACCP計画の作成 HACCPとはどのようなマネジメントなのかを、参加者がグループを組んでディスカッションしながら学びます。食品を作る際のステップからどんな食中毒や有害物質が入ってくるかを考えます。そして、それを未然防ぐ方法をHACCP直に分析します。
第4回 8/7	【講義】 13:00~14:10	新潟県の食品ビジネスの成長の歴史I 新潟県の産業界出荷量が最も大きい食品ビジネス(食品製造業)の成長の歴史を各主要産品ごとにわかりやすく解説します。
	【講義】 14:20~15:30	新潟県の食品ビジネスの成長の歴史II 新潟県の主要な食品のヒット商品を実際に見て、食べて主要産品の食品ビジネスの重要性を理解しましょう。
第5回 8/21	【講義】 13:00~14:10	「食は新潟にあり」新潟の食文化史I 新潟はおいしい食の宝庫です。地域の風土に育まれた新潟の食文化の歴史や文化をわかりやすく解説します。
	【講義】 14:20~15:30	「食は新潟にあり」新潟の食文化史II 新潟の風土により育まれた郷土食を実際に見て、食べて新潟の食文化の歴史や文化を体験します。
第6回 8/23	【講義】 13:00~14:10	遺伝子組換え食品とは 日本では安全性が確認された遺伝子組換え食品の販売・流通が認められています。遺伝子組換え食品には、害強い強い遺伝子や特定の除草剤で耐性を持つ遺伝子などが組み込まれています。遺伝子組換え食品のおよびどのような遺伝子組換え食品が販売・流通されているのかを学びましょう。
	【講義】 14:20~15:30	遺伝子組換え食品の安全性 遺伝子組換え食品については、害が出ると死ぬのに人が食べても大丈夫? アレルギーの原因になったりしない?などの安全面の心配もあります。日本が行っている安全性チェックの仕組みやアレルギーの評価について学び、参加者がグループを組んで討議を行います。

「血液の中から病気を見つけよう」講座の実施

8月7日(水)に小学生向け公開講座「血液の中から病気を見つけよう!」を開催し、全県から小学生23名・保護者14名が参加しました。午前中の講義に先立ち、講師の中川沙織薬学部准教授が、大学説明(大学の概要、大学生の日常生活、研究の面白さ)を実施しました。その後、「血液の中から病気を見つけよう」と題して講義、昼食をはさんで、実験(血液細胞の観察と血糖測定)を実施し、研究室の紹介と大学内の見学を行い、最後に実験のまとめと本講座の修了式を行いました。

教員免許状更新講習

7月、8月に毎年実施している教員免許状更新講習を実施しました。今年度は必修領域1講座、選択領域5講座を開講し、延べ約280名の先生方が参加されました。

市民公開講座

市民公開講座「あなたの健康法、大丈夫？健康情報の見極め方を知ろう。」を新規に企画しましたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため中止となりました。

課題探究型実験講座・体の構造と機能を知ろう講座

高校生及び高校教員を対象に、学習指導要領の改訂、次世代教育の動向を見据えた「探求型の学習」にスポットをあてた新規講座として「課題探求型講座」を企画しましたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため中止となりました。その後、同企画を新潟県が実施する大学魅力向上支援事業補助金を利用して実施するに至りました。

➤ 高度薬剤師教育研究センター

2005年に全国の大学に先駆けて「高度薬剤師教育研究センター」を開設しました。新潟県はもとより全国に勤務する薬剤師の皆様の研究活動拠点となり、出身大学を問わない「医療現場における優れた薬剤として、職能が発揮できるためのサポート拠点」として活用いただけるよう、取り組んでいます。今年度の活動は以下に記載のとおりです。

薬剤師生涯教育講座

最新の医学・薬学を学ぶことのできる研修講座です。臨床を主とした医学分野の講義と、薬剤師の業務に関連した最近のトピックスから構成されています。なお本講座は、新潟市中心部の新潟コンベンションセンター朱鷺メッセ4階国際会議場（マリナーホール）にて年9回開催しています。

今年度は、基本研修となる「薬剤師生涯教育講座」を県内で9回、県外2会場（山形市、長野市）でも実施しました。「グループ研修」は計23回実施しました。「特別講演会」は2回実施し、うち一つは本学国際交流委員会と合同で開催した「薬剤師制度および薬学教育に関する学術交流会 in 新潟」では、「オーストリアの薬剤師制度とその取り組みについて」と題した講演他2演題とパネルディスカッション（同時通訳付）を行いました。さらに、山形市、長野市で「百寿のための健康自立対策」と題し、市民向けの健康をテーマとした公開講座となる健康・自立講座も開催しました。

➤ 産官学連携推進センター

本センターは、「社会のニーズと本学のシーズを結びつけ、広く地域産業界に貢献すること」を目的として開設されました。今年度の活動は以下に記載のとおりです。

にいがた 食と総合ビジネス商談会（しょく Biz!）

5月22日（水）に第四銀行・北越銀行が主催する全業種を対象としたビジネス商談会に、本学が関わる地域資源を活用した産官学連携の事例紹介及びパネル展示（高圧処理生酒「AWANAMA」、乳酸発酵甘酒、米だけ醤油、六条大麦焼酎等の紹介）を行いました。



高圧処理生酒

「AWANAMA」



米だけ醤油

（山崎醸造株）



六条大麦焼酎

米及び加工食品の新市場創出に向けたマッチングフォーラム in にいがた 2019

9月3日（火）に新潟県が主催する米分野における新たな産業や新市場の創出に向け、産官学連携による技術開発や製品開発を推進するために開催された同フォーラムで、本学教員が講演を行いました。講演内容は以下のとおりです。

- 「米関連研究開発の現状と今後の方向性」（応用生命科学部 大坪研一教授講演）
- 「コレステロール合成系と代謝（胆汁酸合成）系に及ぼす食品成分の新しい作用」（薬学部 中川沙織准教授講演）
- 「微生物叢（マイクロバイオーーム）解析の実際 -方法論と適用例について」（応用生命科学部 井口晃徳准教授講演）

2019年度新潟産官学連携フォーラム

11月14日（木）に新潟県、高等教育コンソーシアムにいがた、他6団体が主催する同フォーラムに参加し、産官学連携推進センター長の高久洋暁教授が「油脂酵母における地域食品・醸造残さからの油脂高効率生産プロセスの開発」について、応用生命科学部の井口晃徳准教授が「メタン発酵による電子産業廃水処理と重要微生物の分離培養」についての事例紹介を行いました。

アグリビジネス創出フェア 2019

11月20日(水)～22日(金)に農林水産省が主催する同フェアに出展を行いました。このフェアは、全国の産学の機関が有する、農林水産・食品分野などの最新の研究成果を展示やプレゼンテーションなどで紹介し、研究機関間や研究機関と事業者との連携を促す場として開催されたフェアです。本学は、応用生命科学部の重松亨教授が「高圧殺菌工程を組み込んだ日本酒醸造プロセスの開発研究」についての講演を行った他、同研究で企業と共同開発した高圧処理生酒「AWANAMA」の試飲も行いました。

➤ 健康推進連携センター

本センターは、地域住民の健康生活に寄与するため新潟薬科大学を核として病院薬剤師及び薬局薬剤師とのネットワークを構築し活動することを目的としています。今年度の活動は以下に記載のとおりです。

第79回国際薬剤師・薬学連合(FIP)国際会議

2019年9月24日(火)健康推進連携センターの富永佳子教授が「Qualitative research on dietary counseling for diabetes patients at community pharmacies in Japan: Interim Analysis」のポスター発表をアブダビ(アラブ首長国連邦)にて行いました。糖尿病患者にとって日々の食生活への配慮は欠かせないものです。富永教授は、近年注目されている保険薬局勤務の管理栄養士は病院勤務の管理栄養士とどのように違うのか、さらに薬剤師・医師との連携状況はどうかなどに関するインタビュー調査を実施しており、その中間報告を行いました。

『管理栄養士と薬剤師が手を結ぶ』(第19回日本臨床栄養協会関東地方会)

2019年11月30日(土)健康推進連携センターの富永佳子教授が「薬局を軸とした薬栄連携の今後の可能性」をテーマに講演を行いました。

居宅療養患者への対応における薬栄連携は地域包括ケアの中で徐々に広がりはありますが、外来通院患者対応における薬栄連携は極めて限定的です。しかし、この分野の薬栄連携が進むことにより、地域医療の大きな課題であるフレイルの発生や生活習慣病の重症化の予防に寄与することが期待されます。富永教授は「現場の薬剤師や管理栄養士の方々とともにエビデンスを構築していきたい」とのことです。

➤ 広報室

出張講義

多彩な講義や実験を提供しており、小中学校を対象に13講座、高等学校を対象に33講座の出張講義を行いました。

1day campus

10月16日(水)に北越高等学校の1年生を対象に「1day campus」を実施し、当日はキャンパスツアーなどを行いました。「1day campus」は北越高等学校のキャリア教育の一環として、本学が加盟する新潟SKYプロジェクト※と実施する高大連携事業です。

※新潟SKYプロジェクトは、専門性の異なる大学が協働して推進するプロジェクトです。本学は2017年10月20日に締結しています。

➤ 地域連携推進室

地域連携推進室は、本学と地域との連携を有機的かつ全学的に推進することにより、本学の教育・研究の発展と地域の発展に寄与することを目的として設置され、本学が位置する秋葉区、隣接する田上町、新潟商工会議所、新潟商店街等とそれぞれの活性化実行委員会との活動を行っています。今年度の活動は以下に記載のとおりです。

健康・自立フォーラム

2020年1月26日(日)に秋葉区文化会館ホールで開催された「健康・自立フォーラム」へ本学健康推進連携センターの富永佳子教授が「健康のために出来る事はなに?」という題目で講話をしました。本フォーラムは毎年秋葉区文化会館が主催するもので、2016年度から本学教員を講師として派遣しています。

Akihaで笑顔健康レストランプロジェクト

秋葉区で始まった「健康を願う気持ち」「健康から生まれる笑顔」をキーワードに「Akihaで笑顔健康レストランプロジェクト」において、本学地域連携推進室室長の伊藤満敏教授が「大麦を食べよう～健康維持への効果～」という題目で講話をしました。本プロジェクトには2017年度から本学教員を講師として派遣しています。

その他の活動

上記活動への参加の他に、「新潟市秋葉区役所・新潟薬科大学・商工団体等との三者協議会(6月)」、「新潟薬科大学との連携によるまちなか活性化実行委員会(11月、2月)」、「新潟薬科大学・田上町連携協議会(7月)」に関係者が出席すると共に、「田上町重点道の駅整備推進協議会」及び「田上町健康づくり推進協議会」の会議に地域連携推進室室長の伊藤満敏教授、「田上町食育推進ワーキング会議」に田中宥司教授が出席しました。



Niigata University of Pharmacy and Applied Life Sciences
新潟薬科大学

社会連携・社会貢献白書（2019年度版）

2021年3月発行

編集：新潟薬科大学地域連携推進室

所在地：新津キャンパス

〒956-8603 新潟市秋葉区東島 265 番地 1

新津駅東キャンパス（通称：新津まちなかキャンパス）

〒956-0864 新潟市秋葉区新津本町 1 丁目 2 番 37 号

URL：www.nupals.ac.jp